



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2021年
 3月号
 (第56号)

今月のことば

「わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くする。」
 (エゼキエル書34章16節)

(綿引康司選) (当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

2020～2021年度 主題

クラブ会長 深尾香子「寄り添おう！青春。学ぼう！高齢化。」

東新部部长 加藤義孝(東京)「友情の絆を強め、YMCAを支えよう」

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)「変化を楽しもう！」

アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)「変化をもたらそう」

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 伊藤幾夫 直前会長 石田孝次

書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ BF (Brotherhood Fund)、ワイズメネット

「BF は使用済み切手の換金による資金、今では現金拠出が主流。メネットは男性会員のパートナー」

3月合同例会プログラム

日時：3月8日(月) 19:00～20:30

会場：Zoom

司会：深尾香子 (東京多摩みなみ会長)

*開会挨拶・点鐘 為我井輝忠
 (東京町田スマイリング会長)

*ワイズソング

*ゲスト/ビジター紹介

*各クラブの活動紹介

東京町田コスモス：松香光夫会長

東京多摩みなみ：深尾香子会長

東京町田スマイリング：為我井輝忠会長

*ゲストスピーチ 清水弘一さん
 (石巻広域 元東日本区理事)

「3.11 東日本大震災から10年、そしてこれから」

*YMCA 報告 諏訪治邦
 (東京町田スマイリング担当主事)

*各クラブからのアピール、連絡

*ハッピーバースデー

*YMCA の歌

*閉会挨拶・点鐘 松香光夫

【巻頭言】 「コロナ禍の家庭菜園」

昨年からのコロナ禍では、大変な思いをいたしました。無事に生活してきたことには、ただ感謝しかありません。こんな時期にあつて、家庭菜園・ガーデニングへの注目度が高まっています。当クラブでも、昨秋、新たにプランター栽培講座を開講し、大変楽しく終



えられました。これからは、①外出の自粛やリモートワークの増加によって、野菜作りが自分の慰めになる、②「密閉、密集、密接」の「三密」を避ける新しい生活様式、新たな時間の使い方としての「家庭菜園ブーム」が起きる、と言えると思います。これまでの家庭菜園ブームは、2007年度から2009年の「団塊の世代の大量退職」時がピークとなる、いわゆるシニア世代が中心でありました。しかし、2020年からの傾向は今までと違い、「子供」が野菜作りに携わることで、①親子で育て、生命の尊厳を知る、②育てる苦勞を知る、③力を合わせることの大切さを知るなどの「食育的効果」を見出すことができます。コロナの時代に、「食べ物を粗末にせず、大事にする」、「自分で食料を得ることの大切さを知る」などについて考え、自然あるいは農業をより身近なものとしてとらえていただけたらと思います。(藤田 智)

3月のHappy Birthday / Happy Anniversary

《誕生日》滝口恵子(1日)、藤田 智(7日)

深尾香子(22日)

《結婚記念日》石田孝次(3日)

2月例会	在籍12名 (内広義会員1名) 例会出席10名	出席内訳	メンバー		BF		ファンド	
			7名	1名	切手	使用済み切手、少しでもご提供ください	オークション	
			出席率	73%	330g(今年度累計 705g)		0円	
			メネット	0名	ぼんぼこファンド	12,800円	0円	
			ゲスト・ビジター	2名	(今年度累計)	12,800円	0円	
							0円	

2月例会報告

2月2日(火)、2月本例会がZoomにて開催されました。司会は、田中、今月の言葉は、藤田さんでした。今月は、久しぶりに開会、閉会点鐘が行われました。ゲストスピーチは、日本YMCA同盟(千葉YMCAから出向中)の平田真姫さんによる「もっと知ろう!ピンクシャツデー」。ピンクシャツデーとは、毎年2月の第4水曜日に、ピンク色のものを身につけることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。現在、世界180カ国・地域で取り組まれていて、全国のYMCAでも推進しています。平田さんには、発祥や世界、日本での運動の概要、いじめの実態等をお話いただきました。事前の案内で、参加者全員が、ピンク色のものを身につけて参加しました。



深尾さんが次々期の東新部部長を、石田さんが次期の東新部会計を務めることになり、それぞれから、受諾の経緯と抱負が述べられました。(田中記)

《出席者》9名:「メンバー」石田、伊藤、小野、田中、深尾、藤田、綿引「ゲスト」平田真姫、「ビジター」大澤和子(所沢)

《メーカーキャップ》小早川

2月第2例会(運用会議)報告

2月8日(月)19:00から、第2例会がZoomにて開催されました。今月は、東新部部長公式訪問として加藤部長と役員の方々に参加され、加藤部長からは、「このような状況だからこそ、全体のつながりを深めていきたい」とのメッセージをいただきました。会計報告では、自由献金の内訳を共有し、クラブ拠出分の金額について参加者の同意を得ました。定例審議事項では、3月合同例会の概要を田中さんにご説明いただいた他に、4月例会のゲストスピーカーとして、多摩社協にオレンジリングの説明依頼を打診することが決まりました。報告・確認事項では、東新部EMCセミナーへのクラブメンバーの参加を促すべく、深尾会長から参加案内のメールを発信いただくことになりました。審議事項では、石田さんから「有料Zoomアカウント取得」のご提案がありました。プランター栽培の動画配信や、例会不参加者に対する「例会の見逃し配信」といった活用を視野に入れ、まずは試行してみようということになりました。(小早川記)

《出席者》「メンバー」7名:石田、伊藤、小野、小早川、田中、深尾、綿引、「ビジター」6名:加藤義孝、佐藤茂美、長澤山泰、長澤弘、(東京)、村野繁(東京世田谷)、太田勝人(東京町田スマイリング)



今月のスピーカー

清水 弘一(しみず こういち)さん
石巻広域クラブ



《プロフィール》

1941年(昭和16年)東京に生まれる。終戦の年、宮城県に移住し、大手建設会社勤務の後、現在、杜の都仙台市に居住。1981年熱心なクリスチャン夫婦に紹介され、仙台青葉城クラブに入会。1983年仙台YMCAの維持会員となる。以後、1986年クラブ会長、1993年日本区EMC事業主任、2008年第12代東日本区理事、2010年横浜国際大会プログラム委員長。2011年東日本大震災を経験し、被災地の支援活動に当たる。2016年石巻広域クラブのチャーターメンバー、今年度は、書記を担当。仙台YMCAでは現在、常議員会議長、YMCA学園理事長を務める。趣味:旅行、スポーツ観戦、美術館巡り。

3月合同例会について

3月の例会は、当クラブ、東京町田コスモスクラブ、東京町田スマイリングクラブの3クラブによる合同開催です。日時は、3月8日(月)19:00~20:30で、Zoomにて開催されます。当日の内容は、当ブリテン冒頭の「3月例会プログラム」をご覧ください。毎月の例会とは開催日ケジュールが異なりますので、ご留意願います。(小早川記)

BF 使用済み切手の拠出結果とお礼

今回の使用済み切手は、総量704.86gでした。コロナ禍の中、ありがとうございました。使用済み切手を集めることには、十分意味があると思います。次年度は、倍の1.5kgを目指しています。ご協力よろしくお願ひします。(藤田記)

自主献金の結果報告

今期の自主献金は、クラブの資金とクラブメンバーからの篤志を合わせて、全ての献金科目の基準額を達成しました。各献金の金額と達成率は、以下の通りです。

BF 献金 24,000 円(109%)、TOF 献金 18,300 円(128%)、CS 献金 15,750 円(115%)、ASF 献金 11,000 円(200%)、FF 献金 5,500 円(100%)、RBM 献金 8,800 円(100%)、YES 献金 6,500 円(118%)、メネット献金 6,300 円、PWALP 献金 8,800 円。うちクラブからは 49,950 円支出しています。また、別途 EF 献金と JEF 献金が、メンバーからありました。

(綿引記)

ぼんぼこ農園便り

土壌改良の作業は、友の会の佐々木さんの正にボランティア精神(自助)に助けられ、順調に進んでいます。いよいよジャガイモの植え付け時期を迎えます。佐々木さんは、労苦を惜しまず、時間のある時、ぼんぼこ農園のメンテナンスを怠りません。



井上さんが、ひざを痛めてからは、二人三脚で何回にも分けて土壌改良の作業を積み重ねてきました。その甲斐あって、畑の具合は、明らかに変わり、元々粘土質の畑でしたから、何度も畑を深く掘り起こし、石ころを取り除き、パルプ材を入れ、土をふるいにかけて空気を含ませ、ふかふかのやわらかい土に変えて行きました。また、収穫を繰り返すたびに土地がやせて行くので、化成肥料や牛糞肥料、堆肥などを混ぜ、土壌改良に努めてきました。

秋野菜は、満足できる収穫には至りませんでした。今年の春野菜は、何としてもリベンジしたい思いです。

(石田記)



東新部 EMC セミナー開催報告

2月20日(土)13:30~15:30 オンライン(Zoom)で開催されました。参加者は45名。東新部部長加藤さん(東京)と東日本区理事板村さん(東京武蔵野多摩)の挨拶で始まりました。オンラインということで、参加者一人5秒以内の自己紹介のあと、発題に移りました。今回のセミナーの発題者2名はともに当クラブの石田さんと伊藤でした。石田さんは「ワイズメンズクラブをより魅力的にするために」、また、伊藤は「なぜ会員増強なのか!」と題してプレゼンをしました(プレゼン内容は別掲を参照)。そのあと、4グループに分かれて約20分間討議が行われ、再び全体会に戻り、各グループの報告が行われました。本日のセミナーのまとめを東新部 LT 委員長の太田さん(東京町田スマイリング)が行い、ゲストコメントを次期アジア太平洋地域会長大野さん(神戸ポート)からいただきました。次期東新部部長松香さん(東京町田コスモス)の挨拶でお開きとなりました。参加者も多く、充実したセミナーだったと思います。終了後は、有志によるオンライン雑談会(飲み会)で懇親のときを持ちました。当クラブからは、上記2名の他に、深尾会長と小早川書記が出席しました。

(伊藤記)



東新部 EMC セミナーに参加して

<発題者その1:石田孝次>

2月20日(土)の午後から東新部主催の EMC セミナーが開催され、発題者として参加しました。部を超えて多くの参加者が集まり、45人の参加者が Zoom オンライン会議システムでつながりました。私は、スピーカーの一人として「ワイズメンズクラブをより魅力的にするために」と題してスピーチする機会を与えていただきました。コロナ禍とメンバーの高齢化が進み、クラブ単位の「活動が停滞」を余儀なくされている中で「活動を活性化」させ、「元気を取り戻し」、クラブを「楽しい場」に蘇らせるために何が必要かと言う視点から問題提起をし、改善策の一つとして近隣クラブとの連携強化、統合化も視野に入れた提言を行いました。発表後、Zoom のブレイクアウトルームの機能を利用して4つのグループに分かれ、オンラインでグループ討議が行われました。各グループとも真剣な議論が交わされ、私の発表の中で十分触

れられていなかったことを含め、数多くの助言をいただき、問題意識を共有することができました。若年層の入会促進、女性の入会支援など大胆な提案も出ていました。セミナー終了後、有志が残り、オンライン飲み会をしました。久しぶりに楽しい時間を共有することができました。ワイズソングの原形であるシベリウスの「フィンランディア」に話題が飛び、東京クラブが毎年6月に実施している歌唱例会で「フィンランディア」を合唱する流れができて多いに盛り上がりました。東京町田スマイリングクラブにプロの音楽家がおり、歌唱指導やピアノ伴奏の他演出もしてくれそうな雰囲気になっています。これまで東京クラブが単独のイベントとしてやってきたものですが、叶うならコロナ禍にあって東新部の行事に格上げし、元気を取り戻すきっかけの一つとして現状の流れを変えられればいいと思います。みんなで盛り上がる機会がすっかり減っていますので、この企画が、ワイズが心の面で豊かさを取り戻し、活動面でも元気を取り戻すきっかけになってくれればいいなと個人的には思っています。

<発題者その2：伊藤幾夫>

石田さんの後を受けて、2番手として発題しました。事前に石田さんの発題内容は承知していましたので、視点を変えて「なぜ会員増強なのか！」をデータに基づいて発表しました。1つ目は、1997年から2020年までの東新部会員数と会員平均年齢の推移をグラフにして示しました。「会員は減少し、平均年齢は増加している」ことがはっきりと見て取れます。2つ目は、ワイズの年代別分布から、70歳以上の会員が全体の63%を占めていることがわかりました。「このままで行くと10年後、東新部は、他部に先駆けてワイズの存亡の危機に直面する」ことが予想されます。一人ひとりが東新部の現状を共有し合い、会員増強に努めていきたいと思えます。

<参加者その1：深尾香子>

会員増強を共に考える1日を、今年も「楽しかった」と思っている自分がある。それは、学生時代のアルバイト先で上司に「大人になっても“真剣に遊ぶ”ことを忘れてはダメ。そうしていれば、本業でも成果を上げられるのだよ。」と教えられたから。「解散をしてはいけない！大変なエネルギーを使って作ったんだから。どうしたらいいのか考えるんだよ。」「幾つものクラブが短命だという、その原因って何だろう」「無理はしないことが大切だね」「発題からヒントは得たけど、組織の維持と、拡大は別の話だな」「子育て世代、現役世代や、地元で活躍する人を誘うためには、彼らと知り合いになる方法を考えるんだよ。」「組織の弱体化、誘う力の衰えて、高齢化だけが原因？他にもあるんじゃないの？」持ち時間がもう少し有れば、更にもっと深い議論になったことは間違いない。本当に楽しかった。この清々しい気持ちで明日は仕事に熱中しようと思う。ワイズ万歳！

<参加者その2：小早川浩彦>

石田さん、伊藤さんの発題を受けたグループ討議では、クラブ活性化に向け、参加者から様々な意見が出ました。クラブ統合による人材の確保、クラブ運用を楽にするための役職削減の検討、クラブイベントに対する部全体での関わり方、新規加入者のハードルを下げる手段としての会費減額など。クラブ活性化というキーワード一つに対しても、色々なアプローチ方法があることを思い知るとともに、議論を重ね、意見をすり合わせることの重要性を、あらためて認識しました。

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつもYMCAへのご協力に感謝いたします。

◆「ソシアス2020」（会員協議会）開催報告

2月11日、今年度はオンラインで開催し、会員・職員合わせて57名が参加した。「今、私たちにできること」をテーマにグループディスカッションを行った。

◆「第21回日本YMCA大会」開催報告

2月23日、オンラインで開催され、全国YMCAから会員、職員、ボランティアリーダー、学生YMCAメンバーなど、約250名が参加。東京YMCAからも35名が出席した。

◆今後の主な行事日程

- ・「東日本大震災10周年礼拝」
3月6日（オンライン）
説教：飯岡洋介氏（成増キリスト教会牧師）
- ・東日本大震災10周年「福島パネル展」
3月1日～6日 会場：東陽町センター
- ・「第8回日中韓平和フォーラム」
3月6日（日本YMCA同盟主管）（オンライン）
テーマ：「はなれていてもつながっている」
- ・「第22回libyチャリティーコンサート」
3月14日 会場：山手センター（30名限定）
※オンラインにてライブ配信もあり。
- ・「第30回チャリティーゴルフ大会」
4月8日 会場：PGM総成ゴルフクラブ

これからの予定

- ・3月6日(土) 次期クラブ会長・部役員研修会
- ・3月13日(土)13:00 東新部次期役員準備会その2
- ・3月15日(月) 19:00～ 3月第2例会
- ・4月6日(火) 19:00～ 4月例会
- ・4月12日(月) 19:00～ 4月第2例会

※いずれもZoomにて開催予定